

# 事故レポート(案)

2011年5月10日  
フリーダイビングチーム無限  
代表 金澤 明

2009年8月30日に発生した事故について、当時の本団体内での分析打合せ資料を公開する。

これは、本団体および他の団体や個人において、同様または類似の事故を防ぐ目的で、恥を承知で情報共有するものである。

本資料は、事故発生当事にチーム内で事故原因と今後の対策を話し合った際の**打合せ資料**であり、**考察途中結果**です。本資料で最適な対策を**結論付けるものではありません**。本資料は特定の団体やメーカーを非難するものではなく、**事故の再発防止のために参考情報を共有することを目的**としています。本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、**何人も一切の責任を負いません**。

## 事故概要

日時： 2009年8月30日 10時ごろ

場所： 海洋練習会練習ポイント

概要：

フロートのDリングに潜降ロープを取り付けて練習していた。

潜降ロープのボトムにはボトムプレートとボトムウェイトで計10kg以上のウェイトをつけていた。

ウォームアップで選手が潜降ロープにそって潜降中、フロートのDリングが破損し、潜降ロープが海底に引きずり込まれていった。

幸い、サポートの機転による潜降ロープ保持、および潜降中の選手の判断による脱出によって大事には至らなかったが、一歩間違えれば死亡事故につながる危険な状況であった。

本資料は**打合せ資料**を集めたものであり**考察途中結果**です。最適な対策を**結論付けるものではありません**。本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、**何人も一切の責任を負いません**。

## 事故内容(ログからの抜粋&一部修正)

---

2班に分かれてウォーミングアップ開始。

Kグループ：計3名 ... 競技用ロープ使用

Yグループ：計3名 ... フロート使用

各自のウォーミングアップも終盤になり、そろそろターゲットへ...という時に、Yさんの「落とせ！落とせ！」という大声でYグループに何か異変があったことに気づきましたが、一見3人とも無事な様子。誰かがBOしたわけでもなさそうだし、一体なにがあったのか訳がわからないまま、KグループはYグループへ向かいました。

行ってみると、ボトムを落とすまいと必死でロープを掴み、船上へ引き上げようとしていることがわかったので、Kグループも応援に加わりボトムとウェイトのロストは免れました。

この日は、フロートが船からかなり離れた位置にあったので、大変な作業でした。

とりあえず、全員船に上がろうということになり、改めてフロートを確認して唖然となりました。

なんと！フロートとロープを繋いでいる根元（良くみればプラスチック）ごと折れてしまっているのです。冷静になり、考えれば考えるほど恐ろしい事態に、すっかり意気消沈してしまいました。

それから、皆が落ち着くのに時間がかかりそうなこともあり、反省会をしました。

Kリーダーから「本日のターゲットは中止にしましょう」という提案があり、皆、異存なくターゲットを中止することに決定。

---

なにはともあれ、みんなそれぞれ失敗・反省点はあったものの、混乱した状況の中がんばってくれたおかげで、大事に至らなくてよかったです。

起こってしまったことは仕方ないので、この経験をいい方向に生かしていきましょう。

さて、デブリーフィングでの内容について、重複になる部分もありますが、「事故予防」の観点のみ補足しておきます。

### 【今回のトラブルから考える、今後の改善案】

(とりあえずブレインストーミング的に案出した結果)

- ・器材の定期点検が必要だが、その際に(点検ポイントの)チェックリストが必要。  
( 補足 作成することに決定)
- ・フロートを、強度の高いものに買い替え。  
( 補足 9/5時点で まずは1つ、発注・納品済)
- ・プラスチックの部分をカラビナ等に変更。  
( 補足 9/5時点で、カラビナ等をいくつか購入済)

---

**本資料は打合せ資料を集めたものであり考察途中結果です。ベストな対策を結論付けるものではありません。**本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、**何人も一切の責任を負いません。**

- ・万が一、プラスチックの部分が壊れても問題ないように、
  - ロープでフロートを1周させて潜降ロープにひっかけておく。
  - 潜降ロープをフロートの取っ手部分にも結び付けておく。  
(これまでも実施していたが、その必要性が全員に伝わっていなかったため、今回にかぎって忘れられていた)
- ・ロープが切れる恐れへの対応として、
  - 定期的にロープを点検
  - 一定時期たったら、見た目上問題なくとも、廃棄する。
- ・フロート内のタイヤチューブが避けてしまう恐れへの対処
  - タイヤチューブとは別の浮力体を入れておく(2重化)  
まさに最近検討中の事項でした。
  - フロートの取っ手と船とを結ぶロープの長さを長くしすぎない。  
(ex. 5m程度までとする。これにより、最悪チューブが裂けたとしても、潜降ロープが落ちるのは5mだけに留められる)
  - 潜降ロープと、船とフロートを結ぶロープとを、1本のロープにする。  
ロープの買い替え後に検討予定。

今回のトラブルについては、これからじっくりと分析していき、根本原因から改善していきたいと思いますので、みなさんまたご協力をよろしくお願いします。

### 破損したDリングの写真

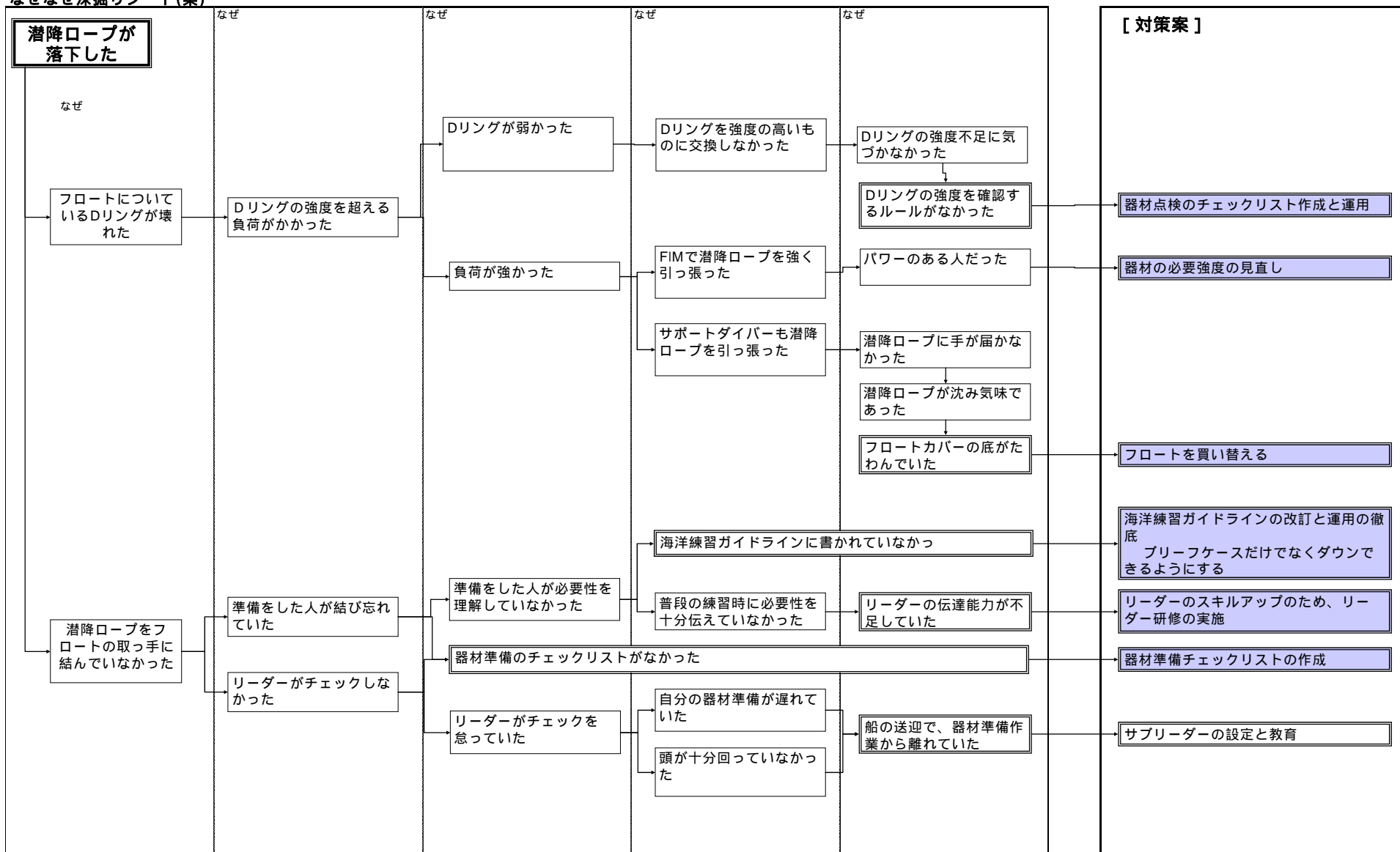


気泡が入っていた(製造不良?作りの悪さ?)ことも破損の原因の1つと考えられますが、本フロートはスクーバダイビング用のものを流用したものであり、メーカーの保証範囲外の使い方をしているため、本団体はメーカーに事故の責任があるとは考えていません。

本資料は打合せ資料を集めたものであり考察途中結果です。ベストな対策を結論付けるものではありません。本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、何人も一切の責任を負いません。

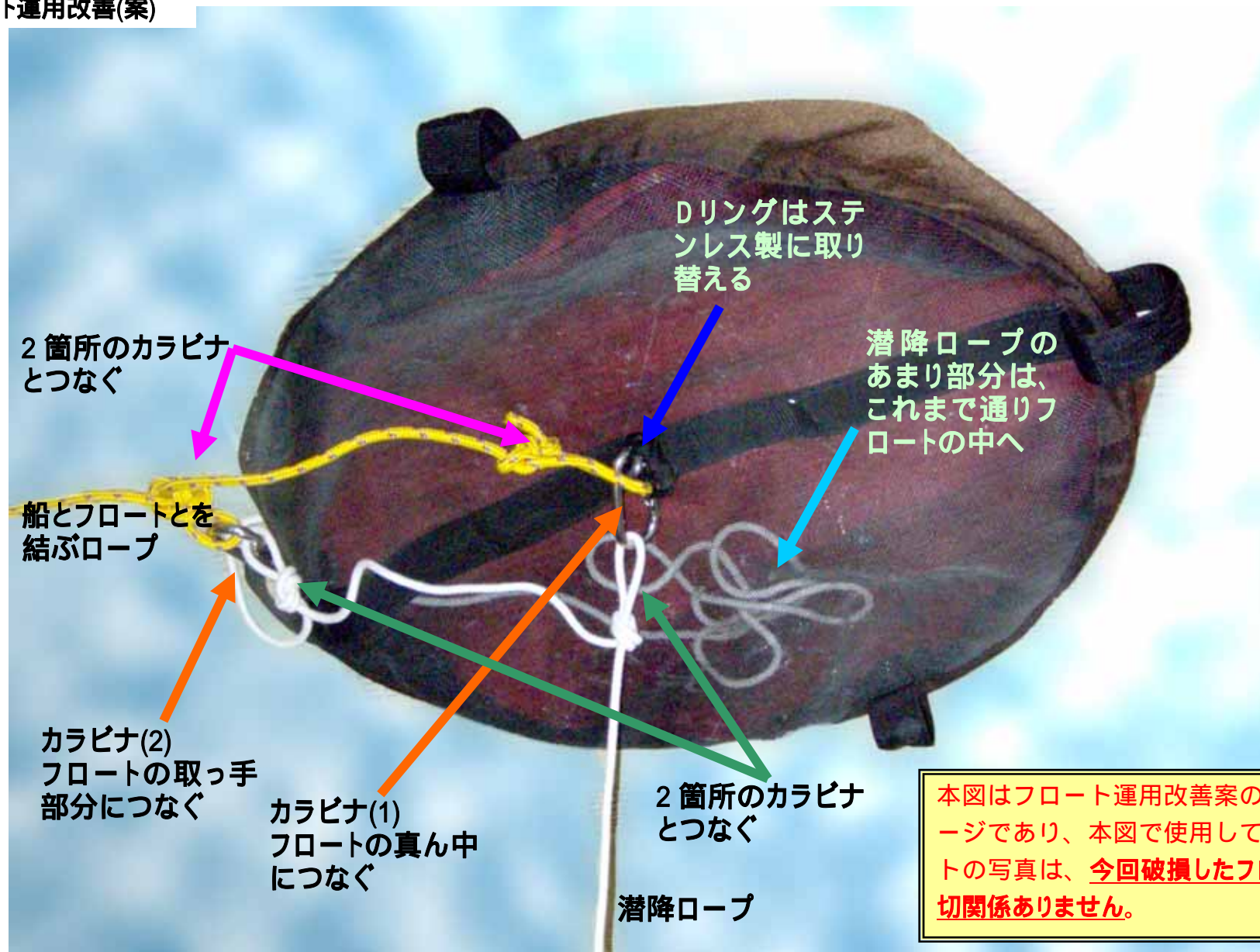
# なぜなぜ分析(案)

## なぜなぜ深掘りシート(案)



本資料は**打合せ資料**を集めたものであり**考察途中結果**です。ベストな対策を**結論付けるものではありません**。本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、**何人も一切の責任を負いません**。

## フロート運用改善(案)



本資料は**打合せ資料**を集めたものであり**考察途中結果**です。ベストな対策を**結論付けるものではありません**。本資料に記載されている事項について、その内容の誤りや不正確な表現などにより、あなたまたは第三者が、有形・無形を問わずどのような損害を受けた場合であっても、本団体および本資料に記載した情報の作者を含め、**何人も一切の責任を負いません**。